

公益財団法人にいがた文化の記憶館

平成 28 年度 事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

展示事業

[概略]

年間開館日について、平成 27 年度の展示替えの休館日を 5 日と設定したが、タイトなスケジュールだった。そのため、28 年度は展示替えに 11 日を充てたい。

平成 28 年度は、前年度からの企画展示「佐渡の兄弟」展が 4 月 17 日まで続いた後、企画展示 4 本と常設展示（前後期の展示替え）を計画。他に 1 本は會津八一記念館特別展（貸館）を予定。

イベント事業

[概略]

27 年度は新潟日報メディアシップや天心サミットなど他団体と連携したイベントが開かれた。28 年度は企画展示の協力顕彰館などからゲストを招いてのイベントを計画している。

調査及び研究・研修事業

[概略]

平成 27 年度に引き続き、インフォメーションセンターとしての機能を果たすべく、文化人の調査および、それにかかるデータ構築、蓄積を重点的に進めたい。

あわせて、館運営の質を向上させるため、また他館との連携を強化するために、職員研修の機会を拡充したい。

教育普及事業

[概略]

平成 26 年度から続く「月いちレクチャー」には年間パスポート会員を中心にリピーターが見受けられる。28 年度も企画展示の観覧者増を期待し、企画展示と月いちレクチャーを連動させて計画。

また、副読本を活用する出前授業の PR を進めていく。

(1) 学芸員等による解説会「月いちレクチャー」

開催は、毎月第 4 土曜日 午後 2 時から午後 2 時 30 分（原則）

(2) 講演会など

教育機関や各種団体の要請により、館長、事務局長、学芸員が対応(随時受付可)。その際、当館の企画展示 PR や、副読本や関連図等の販売なども実施したい。

(3) 副読本を活用した講演会、出前授業など

平成 27 年度は新潟県教育庁、新潟市教育委員会からの協力をいただき、県内市町村立中学校に 1 校につき 40 冊を発送した。子どもたちへの教育事業として、副読本を活用した郷土先人教育への活用を軸とする。

27 年度に続き、新潟県立教育センターの既存事業「学ぼう新潟の知恵」に職員が登録。学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業に対応する。

連携・交流事業

[概略]

サテライト展示 (PR 出張展示) への参加促進を進めるにあたり、27 年秋から開始したテレビやラジオ、新聞での広報展開を活用していきたい。その際、県内顕彰施設および団体との具体的な連携がとれるよう、広く意見を聴取し、連携の仕組みづくりに反映させたい。

(1) 第 4 回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

平成 28 年夏季に、第 4 回ネットワーク協議会を予定。

(2) 機関誌「にいがた文化 vol.2」の発行

平成 25 年度から発行準備していたものの出来ていなかったが、27 年度末に創刊号が完成。28 年度初めに発送予定。

次号も当館の展示および普及活動などの事業報告と、県内顕彰施設や団体が実施する次年度の催し紹介を予定。あわせて広告掲載も検討する。

顕彰人物選定委員会

[概略]

平成 27 年度に引き続き、顕彰人物の調査及びデータ構築、蓄積を進めていく。顕彰人物選定委員会の立ち上げや発足については、29 年度以降の発足を目指す。

【参考資料】

別紙「平成 28 年度 事業計画書 (詳細)」

【別紙】平成28年度 事業計画書（詳細）

展示事業

◆年間の開館日、休館日および展覧会数（別紙2参照）

開館日	休館日	常設（展示替え数）	企画展示（本数）
257日／365日間	108日／365日間	2回	5本／5クール

(1) 常設展示

前期（4月29日～9月25日）、後期（10月7日～3月26日）で展示予定。館内の展示スペースが少ないこともあり、常設展示コーナーの展示ケースで企画展示の関連資料も展示。

会期	内容
前期 4月29日(金・祝)～9月25日(日)	文学・中国学・反骨の系譜・美術
後期 10月7日(金)～3月26日(日)	文学・反骨の系譜・新潟の女性たち・医学
通年 4月29日(金・祝)～3月26日(日)	文化勲章・文化功労者・人間国宝

※資料保存のため、関連資料は2か月毎に展示替えを計画。

(2) 企画展示

クール	会期	展覧会名	内容	目標人数
I	4/29(金・祝) ～7/3(日) 57日間	「越後人のねばり ～鈴木牧之・吉田東伍・諸橋轍次・原久一郎～」	新潟の県民性ともいわれる「勤勉さ」や「ねばり強さ」をキーワードに、越後の先人が長い時間をかけて成し遂げ、今なお各分野で評価される偉業を一堂に紹介。 〔紹介文化人〕 鈴木牧之（南魚沼市）、吉田東伍（阿賀野市）、諸橋轍次（三条市）、原久一郎（阿賀野市）など	1,200人
II	7/15(金) ～9/25(日) 64日間	【貸館】 「究極の趣味人 ～會津八一と川喜田半泥子～」	會津八一没後60年記念展の第二会場。	—
III	10/7(金) ～11/27(日) 44日間	「無頼派と焼け跡 蘭市派 一坂口安吾×野	坂口安吾の生誕110年を記念して、安吾と昨年他界した野坂昭如、二人の文学者を紹介。新潟市顕彰施設「安吾 風の館」	1,500人

		坂昭如一」	や顕彰団体「安吾の会」など生誕 110 年 実行委員会との連携を視野に入れて企画。 〔紹介文化人〕 坂口安吾（新潟市）、野坂昭如（新潟市） ほか	
IV	12/9(金) ～ 1/29(日) 39 日間	「一写真、絵でふ りかえる— 思い出のにいが た」	昭和時代の新潟を写した絵画や挿絵原 画、写真など「懐かしい新潟」を紹介。 〔紹介文化人〕 関屋俊彦（新潟市）、富川潤一（新潟市）、 玉井一利（新潟市）ほか	1,800 人
V	2/10(金) ～ 3/26(日) 38 日間	「青山杉作と俳 優座」	新発田市出身の青山杉作(1889～1956) は千田是也らとともに俳優座を設立した 演出家。青山が演劇人として歩んだ道は日 本の新劇の歴史と重なる。本展では県内 でもあまり知られていない演劇人青山杉作 を紹介する。 〔紹介文化人〕 青山杉作（新発田市）、相馬御風（糸魚川 市）など	800 人

イベント事業

(1) 企画展示関連イベント

クール	日 程	事業名・内容	講師など
I	6/5(日) 14:00 - 16:00	シンポジウム「越後人のねばり～鈴木牧之、 吉田東伍、諸橋轍次～」(仮題) 【内容】顕彰館などから講師を招き、それぞ れの人物と新潟の県民性「ねばり強さ」をテ ーマとしたシンポジウム	コーディネーターおよび 登壇者（調整中）
III	10 月中旬	トークショー「坂口安吾×野坂昭如」(仮題) 【内容】外部講師を招き、坂口安吾と野坂昭 如について語っていただく。	外部講師（未定）

調査及び研究・研修事業

研 修	歴史資料保存活用専門研修会 学芸員等職員研修会など
-----	------------------------------

教育普及事業

(1) 学芸員等による解説会「月いちレクチャー」(別紙1参照)

	開催日	テーマ	企画展示	相関図(テーマ)
1	4/30(土)	越後人のねばり①	4/29～7/3	文学 中国学 反骨の系譜 美術
2	5/28(土)	越後人のねばり②	越後人のねばり ～鈴木牧之、吉田東伍、 諸橋轍次、原久一郎～	
3	6/25(土)	越後人のねばり③		
4	7/23(土)	東洋美術史家・會津八一①	7/15～9/25	
5	8/27(土)	東洋美術史家・會津八一②	究極の趣味人	
6	9/24(土)	東洋美術史家・會津八一③	會津八一と川喜田半泥子	
7	10/22(土)	無頼派と焼け跡闇市派①	10/7～11/27	文学 反骨の系譜 新潟の女性たち 医学
8	11/26(土)	無頼派と焼け跡闇市派②	無頼派と焼け跡闇市派 一坂口安吾と野坂昭如一	
9	12/24(土)	思い出のにいがた①	12/9～1/29	
10	1/28(土)	思い出のにいがた②	写真、絵でふりかえる 思い出のにいがた	
11	2/25(土)	青山杉作と俳優座①	2/10～3/26	
12	3/25(土)	青山杉作と俳優座②	青山杉作と俳優座	

(3) 副読本を活用した講演会、出前授業など

【参考】(平成27年度3月役員会での資料より)

事業主体	事業内容
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村立中学校にて、副読本を活用した郷土先人教育に活用を軸とする。 ・県立教育センター既存事業「学ぼう新潟の知恵」に当館職員が登録し、学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業を展開。
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校または市内教育関連施設等にて、副読本を活用した郷土先人教育を軸とする出前授業のフレームづくり。 ・学校の要請に応じて、副読本を活用した出前授業を展開。

にいがた文化の記憶館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的にかかる入館料減免を適用 事例 1) 校外授業等での引率教員等 2) 副読本を活用する授業計画案作成にかかる観覧 ・子ども向けワークショップの開催（年数回程度） ・教諭向けに副読本活用にかかる解説会等の開催
------------	--

連携・交流事業

(1) 第4回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

項目	内容
①第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時（予定）：平成28年7月～8月 ・会場（予定）：メディアシップ6階 ナレッジルーム ・議題（案）：平成27年度事業報告および平成28年度以降の事業計画 にいがたネットワーク協議会運営、協力体制について
②参加館への展示補助	<ul style="list-style-type: none"> ・展示補助：企画展示（年4～5本） ・補助内容：展示プラン作成、広報、関連イベントなどの支援
③機関誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行予定：平成29年3月 ・内容：巻頭特集ページ及び県内顕彰館などのイベントスケジュールを含む。
④ネットワーク会員館のための内覧会	<p>開催日時（予定）：毎月3月曜日 午後1時～午後5時 ※要事前予約（内覧会開催日の2週間前までに受付） （理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク協議会参加館の多くが月曜休館のため、職員の休日に当館の展示を見ることが難しい。 ・サテライト展示を利用させていただくため、参加館の職員が当館を見学しやすい毎月第3月曜午後を内覧会日としたい。

【参考】にいがた文化ネットワーク協議会 年次計画案（平成25～27年度）

年度	計画案
平成25年度	にいがた文人情報ネットワーク設立による、担当（学芸員）レベルから館レベルでの交流の拡大に協力する。 当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年1～2本）、展示及び広報活動の補助。
平成26年度	前年度に続き、当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年3～4本）。 展示及び広報活動の補助。 ネットワークの醸成による、参加館同士での企画展計画、共同展覧会や事業等の立案。
平成27年度	参加館が主体となったサテライト展示による、文化的、観光的な交流人口の拡大。

(2) 機関誌「にいがた文化 vol.2」の発行

判 型	A4 (A3 二つ折り) 12 頁程度
発行部数	5,000 部
頒布方法	無料
頒布先	・ 県内の顕彰施設および団体、文化施設、図書館など ・ 一万円以上の寄付者 (平成 24 年度 第 1 回臨時理事会 (書面) にて議決した事項)

顕彰人物選定委員会

◆スケジュール案

平成 27～28 年度	顕彰人物の調査およびデータ構築
平成 29 年度以降	・ 顕彰人物のデータ蓄積、選定委員会立ち上げ準備 (顕彰人物の選定、選定委員の選考など) ・ 選定委員会の開催に向けた準備 (顕彰人物の選定など)、選定委員会の開催 ・ 展示への組み込み作業 (相関図など)